



第三次福岡県観光振興指針の数値目標について

福岡県商工部観光局観光政策課

令和7年3月14日



1 第三次福岡県観光振興指針の目標と現状_①

● 目指す姿 ⇒ 「“つながる”福岡観光」

基本戦略

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 1 回復するインバウンド需要の本県への着実な取り込み | 3 観光DXの推進 |
| 2 リピーターの確保と県内の周遊促進 | 4 持続可能な観光（観光SDGs）の推進 |

● 目標値（KPI）

数値目標	当初値 (2022年,R4)	実績(参考) (2023年,R5)	実績 (2024年,R6速報)	目標値 (2026年,R8)	参考 (2019年,R1)
延べ宿泊者数	1,399万人泊	2,112万人泊	(※5) 2,316万人泊	2,344万人泊	2,042万人泊
うち日本人	1,339万人泊	1,609万人泊	1,625万人泊	1,772万人泊	1,616万人泊
うち外国人	61万人泊	504万人泊	692万人泊	572万人泊	426万人泊
旅行消費額	(※1) -	9,659億円	14,163億円	12,200億円	9,934億円
うち日本人	5,477億円	6,949億円	(※6) 9,342億円	8,800億円	7,996億円
うち外国人 (※2)	(※1) -	(※4) 2,710億円	(※7) 4,821億円	3,400億円	1,938億円
旅行消費単価 (日本人)	44,869円	54,442円	(※6) 56,850円	50,800円	44,615円
旅行消費単価 (通常入国外国人)	(※1) -	87,512円	(※7) 100,000円	85,400円	65,700円
リピーター率 (日本人)(※3)	68.1%	65.6%	65.6% 【2023年,R5】	70%	—
リピーター率 (アジア)	40.1% 【2023年,R5】	40.1%	42.3%	45%	—
リピーター率 (欧米豪)	21.7% 【2023年,R5】	21.7%	36.2%	25%	—

注：表示単位未満四捨五入の関係で、積上げと合計が一致しない箇所がある

【出典】

- ・延べ宿泊者数：観光庁「宿泊旅行統計」
- ・旅行消費額：観光庁「旅行・観光消費動向調査」、観光庁「インバウンド消費動向調査」及び法務省「出入国管理統計」を基に福岡県算出
- ・旅行消費単価：観光庁「旅行・観光消費動向調査」「インバウンド消費動向調査」
- ・リピーター率：「福岡県観光ビッグデータ調査」(アンケート調査)

※1 旅行消費額(外国人)、旅行消費単価(通常入国外国人)については、国調査(観光庁「訪日外国人消費動向調査」)が、2022(令和4)年7～9月期まで全国籍・地域のみの公表としているため不明。

※2 旅行消費額(外国人)の把握方法については、以下①+②の合計。

① 通常入国分(旅行消費単価(通常入国外国人)×外国人来訪者数(観光庁「訪日外国人消費動向調査」)に基づき推計)

② クルーズ船入国分(旅行消費単価(クルーズ客)×クルーズ船入国者数(法務省「出入国管理統計」)

※3 過去3年間に福岡県の訪問回数が2回以上の県外在住者の割合。

※4 調査が再開された2023年4-12月(通常入国外国人)及び7-12月(クルーズ調査)の結果を基に算出

※5 2次速報値(R7.6.30確報予定)

※6 2024年10-12月期については、速報値(R7.4.30確報予定)

※7 1・2次速報を元に、福岡県推計(R7.3.31確報予定)

1 第三次福岡県観光振興指針の目標と現状_②

● 4つの施策に係る目標

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 受入環境の充実 | 3 戦略的なプロモーション |
| 2 観光資源の魅力向上 | 4 観光振興の体制強化 |

1 受入環境の充実

成果指標	当初値 (2022年,R4)	実績(参考) (2023年,R5)	実績 (2024年,R6速報)	目標値 (2026年,R8)
宿泊施設の生産性向上支援件数	38件/年	54件/年	33件/年	累計150件
旅行者満足度(日本人)	87.5%	87.7%	88.2%	90%
旅行者満足度(外国人)	94.9% 【2023年,R5】	94.9%	87.9%	97%
住民満足度(観光振興による福岡県の活気の実感)	58.9%	67.5%	70.6%	70%
福岡空港の新規国際路線誘致数	—	2路線	累計4路線 ※R5年度から	累計4路線

2 観光資源の魅力向上

成果指標	当初値 (2022年,R4)	実績(参考) (2023年,R5)	実績 (2024年,R6速報)	目標値 (2026年,R8)
福岡県広域サイクリングルートの整備数(県管轄区間)	3ルート	4ルート	4ルート	7ルート
高付加価値な旅行商品(※)の販売数	—	5商品	9商品	累計30商品

※特別な体験を提供することなどにより、目標値(KPI)に掲げている旅行消費単価の約2倍(日本人向けは10万円、外国人向けは20万円)以上となる旅行商品(県が達成に関わり、かつ、政令市以外の訪問を含む旅行商品に限る)。

3 戦略的なプロモーション

成果指標	当初値 (2022年,R4)	実績(参考) (2023年,R5)	実績 (2024年,R6速報)	目標値 (2026年,R8)
福岡の認知度(アジア)	31%(15位) 【2023年,R5】	31%(15位)	30%(13位)	37%(12位)
福岡の認知度(欧米豪)	8%(15位) 【2023年,R5】	8%(15位)	6%(15位)	10%(14位)
政令市以外を訪問した旅行者の割合(日本人)	48.5% 【2022年,R4】	46.7%	46.7% 【2023年,R5】	50%
政令市以外を訪問した旅行者の割合(外国人)	23.5% 【2022年,R4】	26.1%	26.1% 【2023年,R5】	25%

4 観光振興の体制強化

成果指標	当初値 (2022年,R4)	実績(参考) (2023年,R5)	実績 (2024年,R6速報)	目標値 (2026年,R8)
観光産業を支える人材の育成人数	累計3,033人	992人	1,268人	累計3,000人 (3年間累計)
新規事業を創出したDMOの数	—	5団体	9団体	累計10団体

2 目標値の達成状況について

- ・外国人については、延べ宿泊者数が前年比約37%増の692万人泊、旅行消費額が前年比約78%増の4,821億円、旅行消費単価（通常入国外国人）が前年比14%増の100,000円となり、いずれも指針の数値目標を大きく上回っている状況。
- ・日本人については、旅行消費額が前年比34%増の9,342億円、旅行消費単価が前年比4%増の56,850円となり、指針の数値目標を上回っている状況。
- ・指針期間があと2年残っていることから、現在の動向を踏まえ、これらの数値目標について、見直しの議論をする必要がある。

3 現行の数値目標について（外国人関連）

・現行の数値目標（外国人延べ宿泊者数、旅行消費額（外国人））については、第三期九州観光戦略第一次アクションプランと整合性を取る形で算出している。

第三次福岡県観光振興指針における 数値目標（外国人延べ宿泊者数）の考え方

数値目標	算出方法	備考
延べ宿泊者数	【日本人】 コロナ前の過去5か年で最も多かった2019（令和元）年から約10%増加させることを目標とする （1,616万人泊×110%≒1,772万人泊）。	※2019（令和元）年 1,616万人泊 2018（平成30）年 1,336万人泊 2017（平成29）年 1,389万人泊 2016（平成28）年 1,380万人泊 2015（平成27）年 1,378万人泊
	【外国人】 第三期九州観光戦略第一次アクションプランに合わせ、2019（令和元）年から約34%増加させることを目標とする （426万人泊×134%≒572万人泊）。	※2019（令和元）年 426万人泊（九州は868万人泊） ※第三期九州観光戦略第一次アクションプランの2026（令和8）年目標…1,165万人泊（2019（令和元）年比+34%）

【出典】 福岡県「第三次福岡県観光振興指針」

第三次福岡県観光振興指針における 数値目標（旅行消費額（外国人））の考え方

数値目標	算出方法	備考
旅行消費額	【日本人】 コロナ前の過去5か年で最も多かった2019（令和元）年から約10%増加させることを目標とする （7,996億円×110%≒8,800億円）。 （内訳） 宿泊旅行 7,300億円 日帰り旅行 1,500億円	※2019（令和元）年 7,996億円 2018（平成30）年 7,231億円 2017（平成29）年 7,522億円 2016（平成28）年 6,630億円 2015（平成27）年 6,283億円
	【外国人】 第三期九州観光戦略第一次アクションプランに合わせ、2019（令和元）年から約75%増加させることを目標とする （1,938億円×175%≒3,400億円）。 （内訳） 通常入国 3,005億円 クルーズ船 395億円	※2019（令和元）年 1,938億円（九州は3,739億円） ※第三期九州観光戦略第一次アクションプランの2026（令和8）年目標…6,574億円（2019（令和元）年比+75%）

【出典】 福岡県「第三次福岡県観光振興指針」

4 九州観光機構及び九州各県の動向（延べ宿泊者数）

- ・九州各県のなかで、2024年の宿泊旅行統計における延べ宿泊者数が設定した数値目標を大幅に超えているのは福岡県のみであり、コロナ以降の外国人延べ宿泊者数の伸び方は平均的ではない。
- ・九州各県には、目標値にまだ届いていない県や、外国人延べ宿泊者数を目標値に設定していない県もある。

九州各県及び九州全域（九州観光戦略）の外国人延べ宿泊者数の状況

都道府県名	計画・指針の名称	計画期間 (年度)	目標値における 外国人延べ宿泊者 数の有無	目標値 (外国人延べ宿泊者数)	外国人 延べ宿泊者数 (2024年)	達成率
福岡県	第三次福岡県観光振興指針	2024～2026	あり	572万人泊 (2026年)	691.6万人泊	120.9%
佐賀県	佐賀県施策方針2023	2023～2032	なし	—	22.4万人泊	—
長崎県	長崎県観光振興基本計画	2021～2025	あり	125万人泊 (2025年)	60.1万人泊	48.1%
熊本県	ようこそくまもと観光立県推進計画	2024～2027	なし	—	143.9万人泊	—
大分県	日本一のおんせん県おおいたツーリズム戦略2025～2027	2025～2027	あり	148.4万人泊 (2027年)	149.7万人泊	100.9%
宮崎県	宮崎県観光振興計画	2023～2026	あり	36万人泊 (2026年)	20.5万人泊	56.9%
鹿児島県	観光振興基本方針	2025～2029	あり	155万人泊 (2029年)	59.8万人泊	38.6%
九州全体	九州観光戦略 第1次アクションプラン	2024～2026	あり	1,165万人泊 (2026年)	1,148.1万人泊	98.5%

※九州各県の公表資料及び宿泊旅行統計調査結果をもとに福岡県作成

5 ご議論いただきたいこと（意見交換）

①第三次福岡県観光振興指針の数値目標のうち、延べ宿泊者数（外国人）や旅行消費額（日本人・外国人）旅行消費単価（日本人・通常入国外国人）については、2024年時点で目標値を上回っており、目標値を上方修正すべきではないか。

②外国人にかかる数値目標は、九州観光戦略第一次アクションプランと整合性を取る形で設定していたが、九州各県の外国人延べ宿泊者数の状況を踏まえると、九州の平均（＝九州観光機構の目標値）よりも高い目標を設定する必要があるのではないか。一方で、延べ宿泊数が前年比37%増、旅行消費額が78%増、というような大幅な増加が何年も続くとは考えにくいのではないか。

③日本人にかかる数値目標については、旅行消費額、旅行消費単価で目標値を上回っているが、延べ宿泊者数は目標値に達しておらず、数値の上昇は物価上昇の影響等によるものと考えられる。目標値見直しに当たり、どのような視点やデータをもとに検討すべきか。

（参考）

数値目標を上方修正する場合は、国の確報値や今回ご議論いただいたことを踏まえて数値を設定した上で、次回の観光審議会（令和7年7月下旬予定）にてご審議いただく予定。